



休日のはのんびりと

まちを歩こう!

このコーナーでは、筑波銀行エリアの季節のイベントやおすすめスポットなどを紹介します。

8月



第16回 北茨城市民夏まつり

北茨城市

第16回となる北茨城市民夏まつりを今年も盛大に開催いたします。

豪華ゲストによるステージライブや子ども向け体験コーナー、市内外の特産品販売やキッチンカーの出店など、楽しみが盛りだくさん!

また、磯原駅西大通りを会場とする祭り最大のイベント「市民踊り」では、市民が通りを練り歩きます。

開催日:2026年8月29日(土) 正午~20:00(予定)
会場:磯原駅周辺

大洗八朔祭

大洗町

夏の終わりの風物詩として知られる大洗八朔祭は、毎年8月25日に四海平穏、五穀豊穡を祈願して大洗磯前神社で神事が執り行われ、その宵祭として、迫力のある山車巡業や神輿渡御のほか磯節踊りパレードなどで賑わいを見せます。本祭では歩行者天国となり、各商店街が工夫を凝らした催し物や模擬店を多数出店しますので、是非、大洗町へお越しください。

開催日:2026年8月23日(日)
会場:大洗町全町内(歩行者天国:曲がり松商店街~大貫商店街)

かみすセタまつり

神栖市

「夢・郷土(まち)・人・ふれあい」をテーマに開催されます。会場の商店街には夕方から夜にかけて色とりどりのセタ飾りや吹き流しが掲げられ、夏の夜を彩ります。また大人神輿や子ども神輿、山車が通りを練り歩き、祭りを盛り上げます。盆踊りや太鼓演奏など、各種団体のパフォーマンスも各所で盛大に行われ、沿道には数多くの露店が並びます。

開催日:2026年8月1日(土)・2日(日)
会場:神栖市知手中央 すずらん通り・港南通り

土浦市「からかさ万灯」

土浦市

“からかさ万灯”は、江戸時代中期頃に始まったとされる伝統行事です。干ばつに苦しんだ地域で、雨乞いと五穀豊穡を願い、仕掛花火を神前に奉納したことが起源と伝えられています。現在も大畑地区で毎年8月15日に奉納され、綱火で点火された高さ6m・直径5mのからかさから、色鮮やかな花火が雨のように降り注ぎ、幻想的な光景を描き出します。

開催日:2026年8月15日(土)
会場:鷲神社

納涼大会

桜川市

桜川市の「納涼大会」は、桜川市総合運動公園(ラスカ)で開催される夏の風物詩です。盆踊りの本来の姿を継承しており、豪華賞品が用意される盛り上がり必至の「団体踊りコンテスト」や、地元アーティストによる歌唱などが楽しめます。団体踊りコンテストは、「岩瀬よいとこ」「石投げおどり」などを約10名の団体で競い合い、衣装やチームワークも審査され、入賞チームには賞金が贈られます。

開催日:2026年8月15日(土)18:00~21:00(雨天時は翌日に順延)
会場:桜川市総合運動公園(ラスカ)と周辺

みらいフェスタ2026

つくばみらい市

つくばみらい市商工会青年部が主催する地域密着型の夏祭りです。会場内に設けられた特設ステージでのイベントや、青年部がアイデアを出し合い考えた楽しい企画が満載です。また、子ども用水遊びコーナーやワークショップ、花火など、子どもから大人まで楽しめる充実したイベントです!※駐車場に限りがあるため、みらい平駅より無料シャトルバスが運行されます。

開催日:2026年8月1日(土)13:30~20:45
会場:日本スポーツ振興パークみらい(総合運動公園)

第39回 利根川大花火大会

境町

日本を代表する4大花火師の共演による、日本最大級の打ち上げ数約30,000発を誇る花火大会です。音と光と自然の総合芸術として、最新のテクノロジーにより、音楽にシンクロさせて打ち上げられるストーリー性豊かな演出は、見る人を魅了します。また、打ち上げ幅は全国屈指で利根川の圧倒的ワイドビューは圧巻の一言です。

開催日:2026年9月19日(土)打上開始18:30~
会場:境町利根川河川敷

第71回 とりで利根川大花火

取手市

昭和5年、大利根橋の開通を記念して始まった伝統ある花火大会で、取手の夏の風物詩として市内外から毎年約12万人が訪れます。広がりのあるワイドスターメインや中国花火、尺玉など約10,000発の花火が取手の夜空を彩ります。さらに、夜空を自在に舞うドローンによる演出は幻想的な光景を生み出し、夏の一夜を特別な体験にしてくれます。

開催日:2026年8月8日(土)19:00~20:20(荒天の場合は翌日に延期)
会場:取手緑地運動公園